

# 若洲釣り施設に放流

## 遊漁船組合とカサゴ稚魚

(公財)日本釣振興会東  
京都支部(櫻井孝行支部  
長)と東京湾遊漁船業協



櫻井孝行支部長

同組合(中山賢理事長)は  
9月10日(火)、東京湾・  
羽田沖浅場海域と若洲海  
浜公園海釣り施設前にカ  
サゴの稚魚3万尾を放流  
した。

例年、両団体は共催事  
業としてこの放流を実施  
している。カサゴの稚魚  
は今年3月に孵化した愛  
知県産で、神奈川県栽培  
認定のため行っており今  
年は「青色」で年号などが

放流に協力をしてきている。棧橋に集合した生徒

漁業協会を通じて購入。記入されている。タグを

8時間かけて大森・平和  
島の「まる八」棧橋まで  
輸送されてきた。

午前8時過ぎ、棧橋に  
集合した同組合の組合員

など38名が、放流する3  
万尾のうち、3000尾  
にタグ打ちを行った。タグ  
打ちには、その後の追跡調  
査などで生育状況等を確  
認するため行っており今  
年は「青色」で年号などが

放流に協力をしてきている。棧橋に集合した生徒

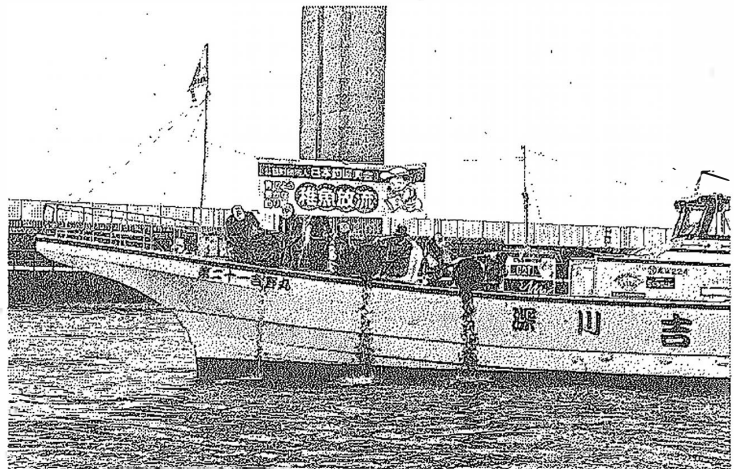
記入されている。タグを

打たれたカサゴを釣り上  
げて、写真やデータと  
もにタグを同組合に送る

とクオカードがもらえる。

午前8時半、大田区立  
大森第一中学校の1年生  
2クラス58名と引率の渡  
邊映二校長ら5名の先生  
が棧橋に到着。同校の生  
徒たちは、総合学習、社  
会体験の一環として毎年

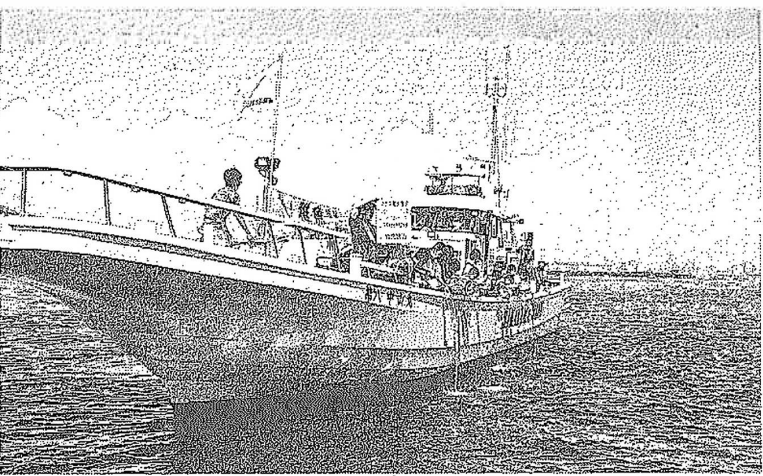
放流に協力をしてきている。棧橋に集合した生徒



日釣振東京都支部は若洲海釣り施設前に放流

この稚魚の観察などを行  
い、その後、稚魚をトラ  
ックからバケツリレーで  
棧橋に集結した釣り船に  
運び込んだ。9時過ぎに  
生徒たちは、全員がライ  
フジャケットを着こんで  
釣船4艘に分乗して出

若洲沖に向かい、カサゴ  
の稚魚約1万尾を放流し  
てもらい、豊かな東京湾  
を守り、育てていくとい  
う意識をもってもらえれ  
ばうれしい」と語った。  
▽東京湾遊漁船業協同  
組合(電話03・6423  
・1091)



羽田空港沖の浅場で中学生が稚魚放流を実施



①カサゴ稚魚の観察も、②大田区立大森第一中学校の1年生58名が参加



を前に、櫻井支部長が全  
国各地で放流や清掃活動  
などを行っている日釣振  
の事業や、釣って食べて  
も美味しい東京湾の魚、  
釣り船の船長の仕事など  
を紹介。また、組合員か  
ら今回の放流についての  
説明が行われた。

続いて生徒たちは、カ  
サゴのタグ打ち作業の見  
学や体験、水槽内のカサ

稚魚には青色のタグを